美山ホームの歩み

～受け継がれる暮らしとつながり～

私たちの働く美山ホームは、昭和45年6月の創設から、
今年で56年目を迎えました。
建物や設備、提供されるサービスなどを時代に合わせて変え、
利用者様や入居者様と職員との関わり方もまた大きく変わってきました。
そんな中、古くから第一線で働かれ、当時の介護現場や
入居者様達の生活風景を知るケアワーカーも在籍数名となり、
その貴重な話を聞く機会も無くなりつつあります。
今回は今後に伝えていきたい美山ホームの過去の風景について、
当時を知るケアワーカーへのインタビューをもとにまとめました。

美山ホームのあゆみ



●新年祝賀会(昭和63年)

着物を着て髪も結い、お屠蘇(とそ)で乾杯する様子。 当時は入居者同士で着付けし合い、新年以外に夏祭りなどでも浴衣を着て行事を楽しまれていました。



●第19回美山まつり(平成2年6月10日)

養護棟中庭、正面玄関前駐車場などを利用し開催。舞台や背景となる装飾も職員や入所者様が協力して作成。来賓用テントの大きさから当時の賑わいが感じられます。



●運動会(平成7年)

学校の運動会さながら、鈴割り、パン食い競争など車椅子の方も積極的に参加され大変盛り上がりました。



●養護クラブ活動(平成28年)

以前は養護入居者様を中心にゲートボールクラブや詩吟クラブ等様々なクラブ活動があり、外部交流も盛んにおこなわれていましたが、入居者様の高齢化が進み虚弱な方も増え、新型コロナウイルスの流行も追い打ちとなり、現在は規模を縮小。園芸クラブや俳句クラブが活動しています。今後は徐々に活動を再開していきたいと考えています。

今回は貴重な資料をお借りして記事とさせていただきました。今後も機会があれば、ご紹介させていただきたいと思います。そして、現在の美山ホームの活動も今後の資料となるよう、職員一同取り組んでまいります。(富塚)